

## 後期第1回

# 佐野日大高校・中等教育学校のグローバル教育 ― 一国の政策、わが校の取り組みと国際交流 ―

平成30年12月16日(日)

講師：佐野日本大学高等学校 校長 わたなべ あきお 渡邊 明男 氏

講師は、これまでの教師生活で身につけたやり方に従って手製のテキストを使って、質問を交えながら講義された。そのため、受講生一同はいかにも高校生に戻ったような気持ちで、真剣に聞き、内容を理解できた。最初に、今の世の中は、VUCA（ヴーカ）※1な時代で、変動、不確実、複雑で曖昧の4語で形容されるように、ダイナミックに変化していくので、それへの対応力が必要と説かれた。グローバル教育は、その社会をしっかりと生き抜くタフな若者を育てるために国が立てた施策であり、国際的視野を持ち、自ら道を切り拓く力を身につける教育と論じられた。そして、佐野日大高校と中等教育学校での教育の具体的な取り組みと海外姉妹校との交流、及びそれらの効果として現在社会で活躍している卒業生を紹介された。（講演後、活発な質疑応答がなされた。）（川合 将義）

※1 Volatility（変動性）  
Uncertainty（不確実性）  
Complexity（複雑性）  
Ambiguity（曖昧性）



## ○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・豊富な知識があふれ出て、内容が濃く、難しい講義でした。これからの発展を願っています。我が子は20年前、日大中学へ行っていました。勉強時間が多く自発的にしていることに感心してきました。当時世界を動かすのは中国となるといっていましたが、その通りになりました。個人の努力が実を結んでいるのかも。
- ・いつもながら市民のニーズに答えた幅広いテーマで開催されていることに感謝いたします。（私は日々視覚が衰えていく視覚障害者です。この感想もやっと書いています。）
- ・エネルギーで大変活力をいただきました。平素から知っていると勘違いしていることもより深く話を聞かせていただき、知識を増やすことができました。ありがとうございました。